

9月28日に富山県総合防災訓練が開催されました。この訓練は県、南砺市、砺波市及び砺波消防組合消防本部が国の機関、地元の関連団体とともに連携をとりながら、大規模地震等の各種災害を想定した実践的かつ広域的な災害応急活動等の防災訓練を実施するものです。

立山砂防事務所からは、立山カルデラのVRシアター、土砂災害の模型展示・実演、土砂災害に関わるパネル展示を行いました。主な土砂災害（土石流、地すべり、がけ崩れ）の仕組みと、防災施設の効果について学んでいただくと共に、近年高まる自然災害の危険性から、災害時に避難をする大切さも認識していただきました。

開催日時：令和7年9月28日(日)9:00～12:00

場 所：南砺市(3会場)、砺波市(4会場)ほか
南砺市城南屋内グラウンド(メイン会場)で実施

主 催：富山県、南砺市、砺波市、砺波地域消防組合消防本部

訓練想定：①地震

富山県東部を震源とするマグニチュード7.0の地震が発生し、砺波市、南砺市で震度6強を観測した。

このため、家屋倒壊、火災、土砂災害、インフラ等に被害が発生、多数の負傷者、道路寸断による物資の供給停止、一部地域の孤立集落などが確認されている。

立山砂防事務所からの出展

立山カルデラVRシアター / 土砂災害ミニ実験模型 / 土砂災害関係パネル展示

148機関が
参加



新田県知事の視察 — パネル展示 —

◆他機関の訓練



緊急患者のヘリコプター搭載
卸下訓練



起震車による地震体験



ダンボールベッドの組立体験



立山カルデラVRシアター



土砂災害模型展示



パネル展示



田中南砺市長の視察 — VRシアターの体験 —